

SCIENCE Letter

令和7年10月20日
神奈川県立座間高等学校 理科（1年）

高大連携授業「探究活動を始めるにあたって」

令和7年10月14日（火）7時間目に神奈川工科大学情報学部情報システム科 高橋勝美教授をお招きして、総合的な探究の時間の進め方を学びました。

- ・「学ぶ」→「記憶」→「試験」これを、総合学習に置き換えると「疑問をもつ」→「調べる・学ぶ」→「伝える」となる。
 - ・PDCAサイクルを意識する。
 - ・「テーマを見つける」→「課題と目標をつくる」→「学習計画を立てる」→「探究学習をすすめる」→「結果の振り返り」
 - ・振り返りシートを作ってみる。
 - ・探究活動の進め方を立ててみる（1年間の見通しを立てる）
- などを教えていただきました。



以下、生徒の感想です。（抜粋）

「探究学習は学んで、記憶して、定期テストや入試でアウトプットする、といった学習方法ではなく、まず自分の好きなことや興味のあることに疑問をもち、自分で考えたり、調べたりし、それをまとめて誰かに伝えるといった学習方法。身の回りにあるものを当たり前と思わず、なんでこれはこうなるんだろうといった小さな疑問を持つことが学びにつながる」

「探究学習をするにあたってテーマを決め、目標をつくることがとても大切だと感じました。中学校の理科でも、自分の気になることについて調べて発表するという課題があったのですが、結果があやふやになってしまったり、ネットで調べただけじゃ出てこなかったりしたので、PDCAの中でもPLANをしっかりと立てたいと思いました。また、研究学習のやり方を細かく教えていただいたので、今まではやって来なかったスケジュールを作成したり、実際に現場に行って調査したりしてみたいと思いました。今回のお話を聞き、理数探究のやり方がしっかりと分かり、よりこれからの研究が楽しみになりました。」

「今まで理数探究は、授業の内容を深掘りして発展させていくだけの活動だと思っていたので、やることの幅広さと自由度の高さには驚かされました。特に、探究学習の例に挙げられていた～トレーニングによってジャンプ力を向上させよう～というのも研究に含まれていることは意外で衝撃を受けました。今後、自分で何をやるかを決め、それを研究する活動があると思うのでその時は自分自身で自分の視野を狭めることなく、やれることの多さを活かした課題設定をして探究活動に取り組んでいきたい。」